

整理番号 2019P-119
補助事業名 2019年度実践的研究を通じた人間力育成支援活動補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人あおもり若者プロジェクト クリエイト

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高校生を対象に、地域の社会資源である「商店街」に介在する人材や資材をいかして通年型社会教育プログラム「クリエイトまち塾」を実施する。学びと実践を両立するプログラムと並行し、商店街を学校に見立て、少人数の高校生に担任として商店主を配置し、1年間まちづくりに取り組む。

プログラムを通じてキャリア教育をはじめとする社会教育を展開し、地域愛着を深めるとともに主体性ある次代を担いうる人材を育成する。

(2) 実施内容

<http://www.aocre.com/machi2.html>

地域の高校生と商店主が一丸となり、1年間かけてまちづくり活動に取り組んだ。

「商店街が学校になる」をコンセプトとした社会教育プログラム「クリエイトまち塾」を2019年5月～2020年3月まで開講した。クリエイトまち塾では、商店街に商店主（担任）、地元学生（副担任）各1名と高校生8名程度により編制される「クラス」を5つ設置し、商店街関係者や地元学生の指導のもと、月1回の「講義日」と随時「実践活動」を行った。

実践活動とは実践的な地域づくり活動のことを指し、高校生の発想により提案される地域課題克服に向けた通年型の活動。

講義日とは、主に高校生・商店主との交流を深めるとともに自己研さんの場として位置付けるものであり、月1回週末に実施する。地域づくりをテーマに幅広いジャンルの方を毎回講師としてお招きし、ワークショップやディスカッション型の講義を展開する。その後、クラスごとに分かれ「ホームルーム活動」を行う。ホームルームでは商店街に関する勉強会などが行われていた。

また、2020年3月にはクラス単位で成果発表と企画提案を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大懸念から、実施を断念し、これに代わる書面をベースにしたフィードバックの機会（「成果発表会に代わる企画提案・活動報告のフィードバック」）を設けた。商店主との対話や活動を通じて、自らの興味分野を深めたり、課題意識を持ってもらうことで、企画提案を通じて主体的な学び（アクティブラーニング的学び）を実現することができたと自己評価する。

コアプログラムの様子



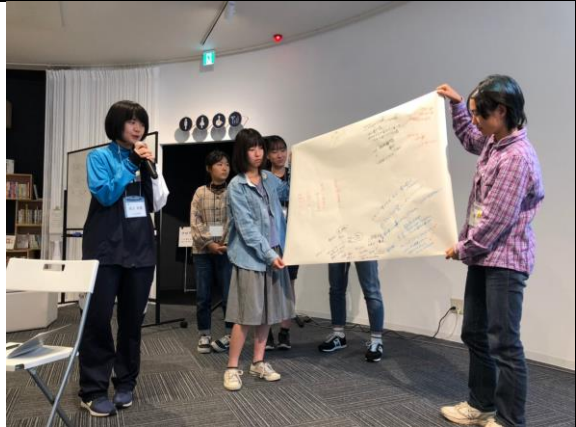
オリエンテーション



フィールドワーク



フィールドスタディ（先進地見学）



ワークショップ

ホームルーム活動の様子



1組（手芸用品店の店員が担任）



2組（飲食店店主が担任）



3組(地域活動の実践者が担任)



4組(家電量販店店主が担任)

実践プロジェクト活動の様子



まちなかプロジェクト
(地域を紹介する番組の制作)



高校生カフェプロジェクト
(商店街にある喫茶店マップの制作)



中学生版まち塾プロジェクト
(中学生向けのまちづくり研修企画・運営)



あおり駅前ビーチプロジェクト
(海を活かしたまちづくりの検討)

2 予想される事業実施効果

地域のアイデンティティ（自己同一性）であり地域資源の集積地でもある「商店街」において高校生が、主体的にまちづくりなどの活動や学びに取り組むことを通じて、思考力・判断力・表現力を高め、ふるさとへの愛着を深めた個性豊かな高校生を育てることが期待される。そして、ふるさとに高い関心を持ってもらうことで、将来にわたり故郷にかかわり続け、地域の諸課題解決に貢献する人材の輩出をめざしたい。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.aocre.com/seika2019.html>

高校生による商店街情報発信番組の素材
成果発表会に代わる活動発表での企画提案資料
成果発表会に代わる活動発表での活動報告資料
活動報告パンフレット

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人あおもり若者プロジェクト クリエイト

(アオモリワカモノプロジェクト クリエイト)

住 所： 〒030-0801

青森県青森市新町2丁目6番27号

青森市新町商店街振興組合内

代 表 者： 理事長 久保田 圭祐（クボタ ケイスケ）

担 当 部 署： 事務局

担 当 者 名： 【代表者に同じ】

電 話 番 号： 017-775-4134

F A X： 017-775-4193

E - m a i l： office@aocre.com

U R L： <http://www.aocre.com/index.htm>